

授業科目(ナンバリング)	茶道文化ⅡA(AB201)			担当教員	安部直樹 嶋内麻佐子 ※柳井駿平		
展開方法	演習	単位数	1単位	開講年次・時期	2年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
薄茶点前の習得を通して、おもてなしについて考える力を培い、日常生活に必要な礼儀作法身につけることを目的とする。また、濃茶点前の導入を行い、薄茶点前と濃茶点前の違いについて気付くことができる。さらに茶道具作り(茶杓作り、服紗作り)、着付け、和菓子作り、花生け、絵手紙のうちから選び、体験学習することで茶道の芸術性を理解する力を養う。							⑪⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	口切りや、濃茶点前で使用する道具の名称などを理解し説明することができる。				小テスト	5%	
情報収集、分析力	茶道具作り(茶杓作り、服紗作り)、着付け、和菓子作り、花生け、絵手紙の体験学習をすることで茶道の芸術性を理解できる。禅語や花について情報を収集し、自己の修養のために役立てることができる。				レポート 課題・レポート	10% 10%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	実技(準備・片付け含む)に取り組む中で、グループの仲間と協調できる。				授業態度	15%	
多様性理解力	茶道実技の基礎である「薄茶点前」が実践できる。				実技確認	60%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
実技確認の成績を60%とし、点前がスムーズに流れているか、道具を正しく扱っているかを確認する。薄茶点前の流れや、流儀の形を理解しているかなどから評価する。授業態度については15%とし、稽古への積極性を評価する。毎回の授業内容をポートフォリオを用いて整理し、習熟度の向上に繋げる。小テストは5%とし、5回目と15回目に実施する。レポートは、ポートフォリオを利用して、オプションの授業への取り組みと感想から評価する。実技確認の結果については学生と個別に振り返りの時間を設けてフィードバックを行う。							
授業の概要							
点前については、薄茶点前の道具を持ち運ぶところから、道具を洗い持ち出すところまで学び、薄茶点前を完成させることを目標とする。教材として、茶道文化研究所作成の動画も用いる。オプション授業では、茶道具作り(茶杓作り、服紗作り)、着付け、和菓子作り、花生け、絵手紙のうちから選び、体験学習を通して芸術を理解する。授業内で使う抹茶・菓子、その他の消耗品など1,400円の諸経費が必要である。オプション授業代は、500円が別途必要である。カリキュラム上、茶道文化ⅡAを履修するためには、茶道文化ⅠA・ⅠBの単位を取得することが必須である。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。							
教科書・参考書							
教科書：嶋内 麻佐子著『茶道文化基礎編』九州文化学園茶道文化研究所(2011年) 63～80頁 参考書：嶋内 麻佐子構成DVD『鎮信流点前入門編』長崎国際大学G P関連事業(2014年) 指定図書：小山茂樹著『茶壺に迫られて—ほっこり宇治茶にこぼればなし—』淡交社(2009年)							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶室での貴重品の取り扱いには自己管理とする。茶道具を必ず持参する。アクセサリは身につけない。靴下を着用する。遅刻・欠席をしない。</li> <li>・授業で学んだ点前は必ず稽古すること。</li> <li>・他の流儀の茶会にも積極的に参加すること。</li> </ul>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	・ 薄茶点前（後半）見本	薄茶点前（後半）の見本を見て概要を確認する。	講義概要（シラバス）を確認する。 教科書 pp. 76～80 を読み、 予習・復習をする。
2	・ 薄茶点前（後半）稽古①	薄茶点前（後半）の復習。	教科書 pp. 76～80 を読み、 予習・復習をする。
3	・ 薄茶点前（後半）稽古②	薄茶点前（後半）の復習。	教科書 pp. 76～80 を読み、 予習・復習をする。
4	・ 薄茶点前（後半）稽古③	薄茶点前（後半）の復習。	教科書 pp. 76～80 を読み、 予習・復習をする。
5	・ 炭点前（風炉）見本 ・ 茶摘みについて ・ 小テスト	炭点前（風炉）の見本を確認し、概要を理解する。 茶摘みについて学ぶ。	教科書 pp. 63～69 を読み、 予習・復習をする。
6	・ 薄茶点前稽古①	薄茶点前の復習。	教科書 pp. 70～80 を読み、 予習・復習をする。
7	・ 薄茶点前稽古②	薄茶点前の復習。	教科書 pp. 70～80 を読み、 予習・復習をする。
8	・ 薄茶点前稽古③	薄茶点前の復習。	薄茶点前の自主的な稽古 をし、点前の流れを整理す る。
9	・ 薄茶点前稽古④	薄茶点前の復習。	薄茶点前の自主的な稽古 をし、点前の正しい型を身 につける。
10	・ 薄茶点前稽古⑤	薄茶点前の復習。	薄茶点前の完成を目指し、 自主的な稽古をする。
11	・ 点前確認	薄茶点前がどこまで理解されているか、確認する。	薄茶点前の完成を目指す。
12	・ 点前確認の振り返り ・ 薄茶点前総復習	点前確認を振り返り、記録カードを作成する。 薄茶点前の復習。	点前確認を振り返り、自己 評価する。 教科書 pp. 70～80 を読み、 予習・復習をする。
13	・ オプション授業①	オプション方式で授業内容を選択する。茶道具作り （茶杓作り、服紗作り）や、着付け、花生け、和菓子作 り、絵手紙などの授業内容のうちから1つもしくは2 つを選び、体験学習をする。	予習・復習については授業 内で指示する。
14	・ オプション授業②	オプション方式で授業内容を選択する。茶道具作り （茶杓作り、服紗作り）や、着付け、花生け、和菓子作 り、絵手紙などの授業内容のうちから1つもしくは2 つを選び、体験学習をする。	予習・復習については授業 内で指示する。
15	・ 濃茶点前の導入 （濃茶 DVD） （仕覆の紐扱い） ・ 小テスト	濃茶点前の導入として点前を見本を見て確認をし て、仕覆の紐扱いを学ぶ。	教科書 pp. 80～88 を読み、 予習・復習をする。